

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）交付申請書・交付請求書 チェックリスト（研究機関用）

このチェックリストは「交付申請書・交付請求書」の記入等の誤りを少なくし、修正等の事務手続きを軽減するため、その記載事項の確認点をまとめたものです。「交付内定一覧」等に基づき個々の研究課題について「交付申請書・交付請求書」を作成する際、「作成上の注意」等に留意するとともに、このチェックリストにより記入等の誤りがないか確認の上、提出するようお願いします。

1. 全般的事項

チェック	チェックの観点	備考
	正しい様式を使用しているか。 電子申請システムで作成した最終版となっているか。	<ul style="list-style-type: none">・電子申請システムを使用して作成してください。・両面印刷されているかを確認してください。・紙媒体に表示されている版数が、システム上の最終版の版数と一致しているか確認してください。
	文字化けや誤字・脱字がないか。	電子申請システムは、JIS 第1水準及び第2水準以外の文字コードや特殊フォントに対応していません。 ※入力画面上は正しく表示されても、書類出力時に文字化けを起こします。

2. 交付申請書（様式A-2-1）

2～4頁を参照してください。

3. 交付請求書（様式A-4-1）

5頁を参照してください。

□全ページが電子申請システム上の最終版の版数と一致するか。
□版数を手書き修正していないか。

1版

様式 A-2-1 [記入例]

平成29年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）交付申請書

平成29年〇月〇〇日

□年度が正しいか。

独立行政法人
日本学術振興会理事長 殿

所属研究機関の本部の 所在地及び名称	〒〇〇〇-〇〇〇〇 東京都〇〇区〇〇2-5-1	
	名称 〇〇大学	
所属研究機関の長の職名・氏名	職名 学長	氏名 〇〇〇〇
研究代表者の部局・職	部局 〇〇学部	職 教授
フリガナ	〇〇〇〇	
研究代表者の氏名	〇〇〇〇	印

次のとおり研究を実施したいので、科学研究費助成事業（科学研究費補助金）（基盤研究（S））を申請します。
なお、交付された補助金は、補助条件に従い適正に使用します。

□署名または押印されているか。

研究課題名 〇〇の××に関する総合的研究

補助金額 (交付予定額)	直接経費①	間接経費②			直接経費と間接経費の合計 (①+②)
	55,000,000 円	16,500,000 円			71,500,000 円
	直接経費の 費目別内訳	物品費 30,000,000 円	旅費 20,000,000 円	人件費・謝金 0 円	その他 5,000,000 円

補助事業者	研究者番号	機関番号	部局番号	職番号	役割分担等	エフォート (%)	直接経費 (研究者別内訳) (円)
研究代表者	2 0 3 4 5 6 7 8 〇 〇 〇 〇	1 2 3 4 5 〇〇大学・〇〇学部・ 教授	5 × ×	2 0	研究の総括と〇〇のモデル化 □役割分担の内容が具体的に記載されているか。 ※「実験」「分析」等のような単語のみの入力はしないこと	60	40,000,000
研究分担者	3 0 4 5 6 7 8 9 ▲ ▲ ▲ ▲	1 2 3 4 5 〇〇大学・〇〇学部・ 教授	5 × ×	2 0	▲▲資料の構成と分析	50	8,000,000
研究分担者	4 0 5 6 7 8 9 0 □ □ □ □	1 2 3 4 5 〇〇大学・〇〇学部・ 教授	5 × ×	2 0	□□データの解析	20	2,000,000
補助事業者合計 (小計)		3 名				直接経費合計 (小計)	50,000,000
キーワード	①環境政策	②環境分析	③	④	⑤		
機関番号	12345	研究種目	基盤研究 (S)	領域番号	課題番号	17H34567	
経費管理担当者・部局・職・氏名			部局・職 〇〇課△△係長	氏名 〇 〇 〇 〇	(1/3)		

(課題番号：17H34567)

(注)・印刷に当たっては、A4判(縦長)・両面印刷すること。

(2/4)

様 式 A-2-1 別紙

	研究者番号	機関番号	部局 番号	職番 号	役割分担等	エフォート (%)	直接経費 (研究者別内訳) (円)
	氏 名	所属研究機関・部局・職			本年度の研究実施計画に対する 分担事項等を具体的に記入すること。		
削除	3 0 5 6 7 8 9 0	1 2 6 8 0	6××	2 7	〔分担者から外す理由〕 担当していた資料分析については平成28年度に十分な成果を挙げることができたため。		
	△ △ △ △	●●大学・●●学部・ 准教授					
削除	3 0 5 6 7 8 9 0	1 2 6 8 9	5××	2 0	〔分担者から外す理由〕 分担金を配分する必要がなくなり、連携研究者になるため。		
	■ ■ ■ ■	▲▲大学・●学部・ 授					
研究分担者	2 0 4 5 6 7 8 9	1 2 6 8 0	×	2 7	●●に関するシミュレーション 〔分担者を追加する理由〕 研究当初に予定していなかった●●に関するシミュレーションを行うことが研究遂行上必要となったため。	30	5,000,000
	● ● ● ●	●●大 学部 准					
<input type="checkbox"/> 変更が必要となる研究上の理由が具体的に記入されているか。 【研究分担者を「追加」する場合の例】 ・研究遂行上○○○○○の調査が必要となったため。 ・研究分担者から外れる○○○○○が行う予定だった○○の調査について、代わりに実施するため。 ※単に「科研費応募資格を得たため」など、研究遂行上必要な理由が述べられていないものは不可 【研究分担者を「削除」する場合の例】 ・退職し、科研費応募資格を喪失するため(転出先:○○病院)。 ・退職し、科研費応募資格を喪失するため(転出先:なし)。 ・○○大学へ転出し、科研費応募資格は有するが、遠方のため連携が困難となるため。 ※所属機関の変更(退職含む)がある場合は、 変更後の 科研費応募資格の有無およびその変更先も可能な限り記入すること							
補助事業者合計 (小計)					4 名	直接経費合計 (小計)	55,000,000

(課題番号: 17H34567)

(注)・印刷に当たっては、A 4 判 (縦長) ・両面印刷すること。

全ページが電子申請システム上の最終版の版数と一致するか。
版数を手書き修正していないか。

1版

機 関 番 号

1 2 3 4 5

平成29年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）交付請求書

年度が正しいか。

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

所属研究機関・部局・職

研究代表者 ○○大学・○○学部・教授

氏 名 ○ ○ ○ ○

印

署名または押印されているか。

さきに交付の決定の通知があった平成29年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）（研究（S））について、下記により概算払で支出して下さるようお願いします。

記

1 課題番号

1 7 H 3 4 5 6 7

2 請求額

直接経費の請求額が300万円以上の場合、前期分と後期分を分けて10万円単位で記載されているか。

	直接経費の額	間接経費の額	合計
平成29年度請求額 (a+b)	55,000,000円	16,500,000円	71,500,000円
うち前期分(4月～9月) 請求額 (a)	30,000,000円	9,000,000円	39,000,000円
うち後期分(10月～3月) 請求額 (b)	25,000,000円	7,500,000円	32,500,000円

正しく受領方が記載されているか。(電子申請システムで予め入力しておく必要があります)

また、上記科学研究費助成事業（科学研究費補助金）の受領方を

研究機関名(注)：○○大学 (学校法人□□□□)

研究機関代表者 職・氏名：理事長・○○○○

に委任いたします。

注 学校法人理事長に補助金の受領を委任する場合には、研究機関名に大学名とともに()書きで学校法人名を記入すること。大学長に補助金の受領を委任する場合には、大学名のみ記入すること。